

大原社会問題研究所五十年史

IV 東京移転より終戦まで〔一九三七～四五年〕

寄附行為の一部改正

一九四一年 昭和一六年 昨年末の委員会で、理事定数を二名より三名に増員する件が決定され、本年三月二〇日右の決定にもとづき寄附行為(第一条一号)の一部改正を文部省に認可申請したのであるが、五月六日に認可された。こうして増員された理事一名を正式に選任するため、五月一五日委員会を開き、協議の結果、高野氏が就任した。

この年(一九四一年)「統計学古典選集」の刊行は四巻五冊を数えた。すなわち、エンゲル著森戸訳『ベルギー労働者家族の生活費』、フォン・モール著高野訳『統計学』、リュウダー著高野訳『統計学批判』、ペッティー著大内訳『政治算術』、グラント著久留間訳『死亡表に関する自然的及政治的諸観察』がそれである。その他労働年鑑の刊行と、『資料通報』第五号一七号の発行をあげることができる。

一九四一年一二月二三日の委員会(出席森戸、高野、久留間、権田、大林氏、欠席細川氏)では次年度事業方針と予算案(二万六、一四九円)を審議決定した。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)